

解答例

適性検査Ⅰ

1 100点

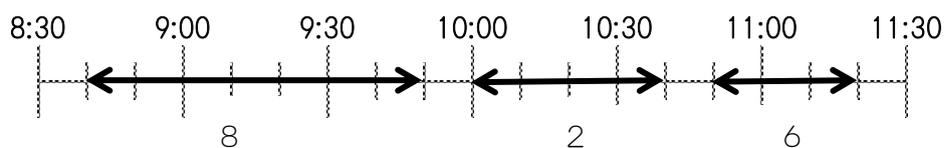
(省略)

適性検査Ⅱ

1 40点

〔問題1〕 16点

☒ 〔活動内容と時間〕



〔料金の合計〕 2500 円

〔問題2〕 8点

12 時 36 分 00 秒

〔問題3〕 16点

「大」「中」「小」の全てが同時に10秒間出ている時間はない。

5秒間当たりの「大」の水量は、「中」の水量と「小」の水量の和よりも多いため、水量が最も多くなる時間は「大」が10秒間出ていなければならない。

そのとき、5秒間当たりの「中」の水量は、10秒間当たりの「小」の水量よりも多いため、「中」のふん水が出ている時間に、水量が最も多くなる。

よって、「大」と「中」が同時に10秒間出ている時間があるので、そのときに最も多くの水が出ていることになる。

以上により、答えとなる時刻は13時7分30秒。

また、水の総量は $36 \times 1 \times 2 + 8 \times 3 \times 2 = 120$ (L)。

2 30点

〔問題1〕 15点

(選んだ一つを○で囲みなさい。)

第2次産業

第3次産業

しゅう業者数は、1960年と比べて1990年は増加し、1990年と比べて2020年は減少している。

しゅう業者数の最も多い年れいそうは、1960年は15～24さい、1990年は35～44さい、2020年は45～54さいと変化している。

〔問題2〕 15点

(図2と図3から一つずつ選んで○で囲みなさい。)

図2 :

①

②

③

図3 :

④

⑤

⑥

〔農家の人たちの立場〕

共通する利点は、カフェ事業を始めたり、新しい観光ルートを提案したりして、来客数が増えて、売り上げが増加したことである。

〔農家以外の人たちの立場〕

消費者にとって共通する利点は、新しくできたカフェをおとずれたり、加工工場見学などの新しい観光ルートを体験したりして、新たなサービスを受けられるようになったことである。

3 30点

〔問題1〕 14点

(1) ウ

(2) 葉の面積を同じにしたときの葉についてまの水の量が多いか少ないかを比べ、水てきが葉とくっついている部分の大きさが大きいか小さいかを比べることによって判断した。

〔問題2〕 16点

(1) 図3から黒色のインクがついた部分がより少ないので、すき間がより広いと考えられ、図4からおもりをのせるとよりちぢむので、厚みがある方向にもすき間がより広いと考えられる。つまり、あらゆる方向に、水が入ることができるすき間がより多いから。

(2) じょう発した水の量は、箱とシャツの合計の重さが軽くなった量からTシャツの重さが重くなった量を引くことによって求められる。キは、Tシャツによってきゅうしゅうされた水の量とじょう発した水の量のどちらも最も多いから。